

授業科目名 (英文表記)	財政学特殊問題 (Public Finance)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	齊藤 仁		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	① 10月10日(土) 9:00~12:20	⑤ 11月7日(土) 9:00~12:20	
	② 10月17日(土) 9:00~12:20	⑥ 11月14日(土) 9:00~12:20	
	③ 10月24日(土) 9:00~12:20	⑦ 11月21日(土) 9:00~12:20	
	④ 10月31日(土) 9:00~12:20	以下の授業計画はあくまでも予定であって、変更することもある。	

【授業のねらい・概要】

現在の日本において、財政赤字の問題や少子高齢化の進展などのいろいろな財政上の問題が生じている。では政府の役割にはどのようなものがあるのか？またどのような時に政府の介入は必要なのか？など、政府の役割について経済学的な視点から説明を行っていく。まず大まかな財政の仕組みについて説明した後、各個別の歳出や歳入についての現状や制度、理論についてより深く説明を行っていく。この講義を通して、現在の日本の財政の問題点や改善点などを論じられるようになることをねらいとする。

【授業計画】 ※記載の内容は変更することもある。

- | | | | |
|------|---------------------------------|------|-----------------------|
| 第1回 | イントロダクション：10月10日に実施予定 | 第2回 | 政府の役割と財政：10月10日に実施予定 |
| 第3回 | 財政の仕組みと予算：10月10日に実施予定 | 第4回 | 日本の財政赤字：10月17日に実施予定 |
| 第5回 | 財政再建と政治経済学：10月17日に実施予定 | 第6回 | 国と地方の関係：10月24日に実施予定 |
| 第7回 | 制度としての地方交付税：10月24日に実施予定 | 第8回 | 地方財政計画の役割：10月31日に実施予定 |
| 第9回 | 行政サービスにおける国と地方の役割分担：10月31日に実施予定 | | |
| 第10回 | 地方公共団体間競争の実態と課題：11月7日に実施予定 | 第11回 | 受講生の発表①：11月7日に実施予定 |
| 第12回 | 受講生の発表②：11月14日に実施予定 | 第13回 | 受講生の発表③：11月14日に実施予定 |
| 第14回 | 受講生の発表④：11月21日に実施予定 | 第15回 | まとめ：11月21日に実施予定 |

【到達目標】

基本的な財政制度や理論を理解した上で、それをもとに現在の財政政策の現状や問題点、改善点等について自らの見解をもつことができるようになる。

【成績評価方法】

大まかな財政の仕組みについては担当者が講義形式で説明を行うが、各個別の歳出や歳入部分に関しては、受講者の中で分担を決め指定したテキストの該当部分の輪読を行う。講義参加者に対しては少なくとも1回は発表することが求められる。「輪読の発表」とクラスディスカッションへの貢献などにより総合的に評価する。

【教科書】

赤井伸郎編『実践財政学－基礎・理論・政策を学ぼう－』有斐閣

【参考書】

小塩隆士「コア・テキスト 財政学(第2版)」新世社、宇波弘貴編著「図説 日本の財政(平成29年度版)」東洋経済新報社

【履修上の注意・メッセージ】

講義で他の人に迷惑をかける行為(大声で私語をするなど)を行った者については、退出していただく。退出を命じた学生に関しては、基本的にこの講義に関して単位認定を行わない。また、現在どのようなことが起きているのかを知る必要もあるので、日常的に新聞(ニュース)に目を通す習慣を身につけてほしい。

【授業時間外学習】

各講義終了後に講義内容について授業資料や教科書などを用いて復習を行うことが求められる。そのほか、各自の興味や疑問点に応じて、参考書や関連省庁のホームページを調べて勉強をすること、さらに輪読で発表するに当たっては、教科書の該当部分の精読以外にも関連する文献などを読むなど、かなりの自主的な学習をすることが必要である。

【履修する上で必要な事項】

なし

【受講を推奨する関連科目】

なし

【その他連絡事項】

本講義は、MoodleおよびTeamsを用いた遠隔授業で実施します。対応できるようにしておいてください。
Teamsのチーム・コードは、「7brunvg」です。
TeamsのID取得時のメールアドレスの設定は大学発行のもの(アドレス)にしてください。